

「東洋一」といわれた三代目名古屋駅

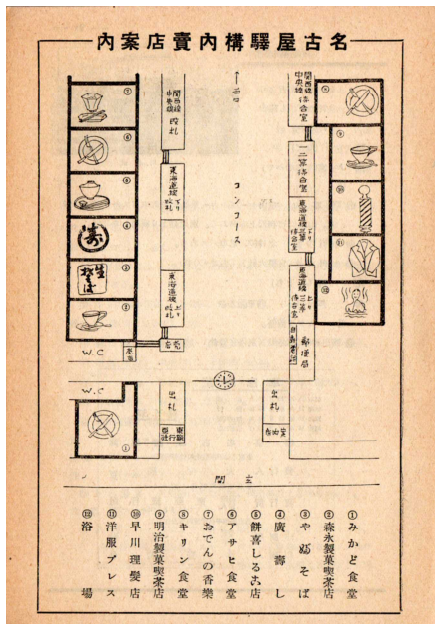


「祝竣工」の文字を掲出した名古屋駅

出典：『国鉄名古屋駅百年史』

1937(昭和12)年という年は、2月に桜通りの開通、3月に東山動植物園が開園、汎太平洋平和博覧会の開催と、名古屋の街にとって大きな節目の年であった。それに花を添えたのが、2月1日に現在地に竣工した「東洋一」といわれた新しい名古屋駅(三代目)で、記念切符や多くの絵葉書が発行された。

初代名古屋駅は、「名護屋駅」として、1886(明治19)年5月1日に笹島に開業した。翌年4月に「名古屋駅」に改称される。1891(明治24)年の濃尾地震で倒壊するが、翌年には二代目名古屋駅が建設された。



新名古屋駅の構内売店案内図
(個人蔵)



東海道線車窓展望 (個人蔵)

←新名古屋駅の竣工記念乗車券 (個人蔵)



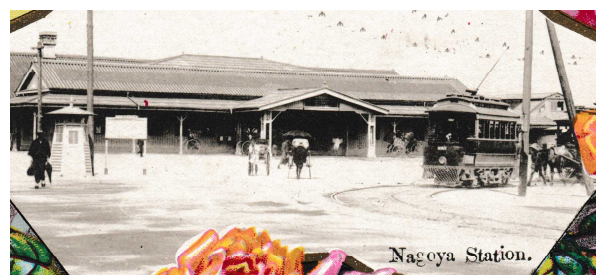
桜通りから見た名古屋駅

出典：絵葉書(個人蔵)



初代名古屋駅

出典：絵葉書(個人蔵)



二代目名古屋駅

出典：絵葉書(個人蔵)